

第34回

# ICTワークショップ シヨツプ。

AIによるエネルギー予測、非破壊検査、  
IoT+Wi-Fiによる地方課題支援、  
超音波による盗聴防止、眼科用医療機器、  
放射線観測ネットワーク

2023 **7/20** (木) 16:00~17:40

ハイズリット開催

(100周年記念ホールおよびオンライン同時配信)

## 要申込

詳しくはこちら



UEC ワークショップ

交流会(参加費2000円、ただし学生は無料)を実施します。  
対面および交流会は先着35名様に限らせていただきます。(7/14締切)



国立大学法人

**電気通信大学**

The University of Electro-Communications

主催：国立大学法人電気通信大学

後援：一般社団法人首都圏産業活性化協会（TAMA協会）

企画：産学官連携センター UECアライアンスセンター運営支援部門

# プログラム

## (1) 株式会社 AIS研究所の歩む道について

李 鉉宇 氏（株式会社AIS研究所 取締役所長）

当社は、新しい製品やサービスの核となる技術を獲得し、実装・実証により、人々の暮らしを豊かにするイノベーションを起こす会社です。これまでに、AIの技術を活用し、幾つかの企業と共同研究を実施し、成果を上げています。エネルギー予測、非破壊検査、振動解析など分野におけるその活用についてご紹介します。

## (2) 真の問いかけから社会課題の解決と市場創生を目指すOPTYグループの挑戦

島崎 理一 氏（OPTYWORKS株式会社 代表取締役）

大企業のDX組織改革や経営層の学び直し（リベラルアーツ等）のコーチングを行う過程で気付いたのは日本企業の新規事業化力の低さです。自らが事業化を見せる形でリードするやり方を決意し、現在、IoT+Wi-Fiによる地方課題支援、超音波による盗聴防止、バッテリーのリサイクル標準化等への事業化を推進中です。今後の電通大学の皆様とのコラボへの期待や思いを語りたいと思います。

## (3) 共創進化とオープンイノベーションによる国際社会実装研究

石垣 陽 特任教授（国際社会実装センター）

芸術家・医師と連携して考案し日本国内での保険適用やインド・アフリカ地域で臨床試験までを達成した眼科用医療機器や、世界の研究者と共に開発し10万台以上が普及した地球規模放射線観測ネットワークについて事例紹介します。

さらにリバースイノベーションによるグローバルサウスとの共創、共創進化スマート社会における産学官連携・オープンイノベーションの在り方、国際社会実装に向けた研究者のマインドセットについて議論します。